

【地理B】

問題のねらい、主に問いたい資質・能力及び小問正答率等

第1問A 問題のねらい

低緯度帯の気候をテーマとして、諸事象の相互関係をとらえ、気候と植生や景観との関係など、自然現象の分布や位置の規則性を見いだす力を問う。

	解答番号	高等学校学習指導要領の内容	主に問いたい資質・能力		小問の概要	正答率(%)
			知識・技能	思考力・判断力・表現力		
問1	1	(2) 現代世界の系統地理的考察 ア 自然環境	貿易風の風向についての理解		熱帯収束帯で南北から収束する貿易風の風向をとらえる。	38.7
問2	2		熱帯収束帯と周辺部の自然現象についての理解	事象について位置や分布などからとらえ考察することができる。	主題図を基に、熱帯収束帯が熱帯地域、周辺地域に与える影響について考察する。	35.9
問3	3		熱帯収束帯と気候についての理解	事象が生起している場所の特徴をとらえ考察することができる。	主題図と表から情報を読み取り、熱帯収束帯の移動、各河川の流域、降水量についての情報を関連付け、気候帯と事象との関係性について考察する。	28.3
問4	4		気候と植生についての理解	事象が生起している場所の特徴をとらえ考察することができる。	景観写真から情報を読み取り、景観と気候との関係性を考察する。	28.7

第1問B 問題のねらい

火山活動や自然災害をテーマとして、自然が人間生活にもたらす影響をとらえ、自然環境と人間生活との関係を考察する力を問う。

	解答番号	高等学校学習指導要領の内容	主に問いたい資質・能力		小問の概要	正答率(%)
			知識・技能	思考力・判断力・表現力		
問5	5	(2) 現代世界の系統地理的考察 ア 自然環境	火山活動に伴う諸事象についての理解		火山活動に伴う現象が人間生活にもたらす影響をとらえる。	65.3
問6	6		各種災害の到達範囲と地形条件の関係についての理解	地理的事象について人間や社会と自然環境との相互依存関係などの関わりをとらえ考察することができる。	地形図から情報を読み取り、災害が発生した場合の被災範囲を類推する。	86.7

第2問 問題のねらい

世界の食料問題をテーマとして、多様な資料から情報を取り出し、一つの地域にのみ見られる特色と、他の地域との共通性とを見いだすことによって、指標を基に各国の状況を比較し、多様性が生まれる要因を考察する力を問う。授業での探究の場面を設定し、現代世界の諸課題を意識できるよう工夫している。

解答番号	高等学校学習指導要領の内容	主に問いたい資質・能力		小問の概要	正答率(%)
		知識・技能	思考力・判断力・表現力		
問1 7	(2) 現代世界の系統地理的考察 イ 資源, 産業	世界の食料問題と人口問題における各地域の特色についての理解	地理的事象について人間や社会と自然環境との相互依存関係などの関わりをとらえ考察することができる。	統計表と主題図から読み取った情報を統合し、栄養不足人口率、穀物自給率と人口増加率との関係性を考察する。	※
問2 8		主要作物の生産地についての理解	/	世界の主な作物の生産国についてとらえる。	79.0
問3 9		現代世界の農業の現状についての理解	地理的事象について人間や社会と自然環境との相互依存関係などの関わりをとらえ考察することができる。	散布図から情報を読み取り、農地面積と肥料の消費量の関係から、世界の地域別特徴をとらえる。	33.4
問4 10		主要作物の生産量と輸出量の関係についての理解	地域的特色について多面的・多角的に考察することができる。	統計表とグラフから読み取った情報を基に、米と大豆の流通の特徴についてとらえ、その用途の変化について考察する。	64.3
問5 11		先進国と発展途上国の食料問題についての理解	地理的事象について空間的相互依存作用など地域間の様々な関係をとらえ考察することができる。	飽食・飢餓と健康に関する統計表から読み取った情報を、各国の特徴と結び付け、その特徴に基づき類型化して示す。	71.7
問6 12		世界の食料問題と解決策についての理解	地理的事象を多面的・多角的に考察した過程や結果を、理由や根拠に基づいてまとめることができる。	問2～問5の内容を踏まえ、世界の食料問題とその解決に向けた取り組みを示す。	81.3

※問題文中の図に誤りがあったため、集計の対象外とする。

第3問 問題のねらい

世界の人口と都市をテーマとして、地域を世界的レベル、国家的レベル、都市的レベルといった様々なスケールでとらえ、人口と都市に関する諸事象を比較し、その時間的推移・空間的変容から各地域の特色を考察する力を問う。

	解答番号	高等学校学習指導要領の内容	主に問いたい資質・能力		小問の概要	正答率 (%)
			知識・技能	思考力・判断力・表現力		
問1	13	(2) 現代世界の系統地理的考察 ウ 人口、都市・村落	資料から目的に応じた情報を読み取る技能		人口に関するカルトグラムから各地域の特徴をとらえる。	87.4
問2	14		国家の経済状態と人口ピラミッドの関係についての理解	事象が生起している場所の特徴をとらえ考察することができる。	人口ピラミッドから読み取った情報と各国の経済的特徴に関して習得した知識とを関連付け、人口構造の特徴について考察する。	44.5
問3	15		国家の経済状態と人口増加率の関係についての理解	地域的特色について多面的・多角的に考察することができる。	統計表から読み取った合計特殊出生率と一人当たりのGDPのデータを関連付け、各国の特徴について考察する。	51.9
問4	16		都市の機能、居住問題についての理解	事象が生起している場所の特徴をとらえ考察することができる。	景観写真を読み取り、各都市の特徴をとらえ、景観が形成された要因について考察する。	34.4
問5	17		都市内部の機能と構造についての理解	事象について位置や分布などからとらえ考察することができる。	大都市の内部構造を示す模式図を基に、同心円状に分布する各地区の機能について考察する。	49.4
問6	18		都市の機能についての理解	地理的事象について空間的相互依存作用など地域間の様々な関係をとらえ考察することができる。	統計表から昼夜間人口比率と年間商品販売額に関する情報を読み取り、読み取った情報を関連付け、日本の中規模都市の機能について考察する。	30.0

第4問 問題のねらい

ヨーロッパ地域を対象として、資料から取り出した情報を基に、ヨーロッパという州規模地域の特色を多様な事象の分析から考察し、仮説を立て検証に必要な情報を推測する力を問う。課題探究の場面を設定し、多面的・多角的に考察できるよう工夫している。

	解答番号	高等学校学習指導要領の内容	主に問いたい資質・能力		小問の概要	正答率 (%)
			知識・技能	思考力・判断力・表現力		
問1	19	(3) 現代世界の地誌的考察 ア 現代世界の地域区分 イ 現代世界の諸地域	ヨーロッパにおける気候区分についての理解	事象について位置や分布などからとらえ考察することができる。	ハイサーグラフから読み取った気候の情報と都市の位置を関連付けて考察する。	65.9
問2	20		ヨーロッパの農業についての理解	事象が生起している場所の特徴をとらえ考察することができる。	景観写真から読み取った農業の特徴と地図上の場所を関連付けて考察する。	47.3
問3	21		ヨーロッパの言語と宗教の分布についての理解		ヨーロッパにおける宗教と言語の多様性と分布をとらえる。	29.8
問4	22		ヨーロッパの統合とEUについての理解	地理的事象について人間や社会と自然環境との相互依存関係などの関わりをとらえ考察することができる。	EUの統合が進んだ理由について、四つの観点から考察する。	47.9
問5	23		EU加盟国の経済状態についての理解	地理的事象について空間的相互依存作用など地域間の様々な関係をとらえ考察することができる。	散布図からEUへの拠出金額と1人当たりGNIの相関について分析し、EU加盟国の特徴について考察する。	70.8
問6	24		ヨーロッパの人口移動についての理解	地理的事象を多面的・多角的に考察した過程や結果を、理由や根拠に基づいてまとめることができる。	EU諸国の国際的な人口移動に関する仮説を立証するために必要な資料を示す。	55.2

第5問 問題のねらい

生活圏の地域調査に関して、異なる種類の資料から取り出した情報を統合し、地域の特徴や課題を考察したり、自然災害への備えや対応に着目し、地域の諸課題について考察する力を問う。一つの地域が抱える課題を日本の地理的な諸課題へ一般化する探究過程を示すよう工夫している。

解答番号	高等学校学習指導要領の内容	主に問いたい資質・能力		小問の概要	正答率(%)
		知識・技能	思考力・判断力・表現力		
問1 25	(1) 様々な地図と地理的技能 ア 地理情報と地図	資料から目的に応じた情報を読み取る技能		地形図から情報を読み取り、観察される景観をとらえる。	17.2
問2 26	(1) 様々な地図と地理的技能 イ 地図の活用と地域調査	日本の気候についての理解	地理的事象について人間や社会と自然環境との相互依存関係などの関わりをとらえ考察することができる。	各地の月平均気温のグラフから読み取った情報と各地点の特徴から、避寒地として機能した要因について考察する。	40.4
問3 27		日本の人口問題、都市・居住問題についての理解	事象について位置や分布などからとらえ考察することができる。	メッシュマップから情報を読み取り、対象地域の人口分布と産業や人口構造との関係について考察する。	57.4
問4 28		開発に伴う災害と防災についての理解	地理的事象について人間や社会と自然環境との相互依存関係などの関わりをとらえ考察することができる。	防災施設の写真と立地から、設置された目的や役割を考察する。(当てはまる選択肢を全て選択させる問題)	21.6
問5 29		開発に伴う災害と防災についての理解	地理的な課題について多面的・多角的に考察し、解決策を合理的に構想(選択・判断)することができる。	地形図・地形分類図・景観写真から読み取った情報を関連付けて、対象地域の災害の危険性と防災に関する課題について考察する。	35.5
問6 30		(1) 様々な地図と地理的技能 イ 地図の活用と地域調査 (3) 現代世界の地誌的考察 ウ 現代世界と日本	日本の自然の特徴と人間生活についての理解	地理的事象を多面的・多角的に考察した過程や結果を、理由や根拠に基づいてまとめることができる。	問4、問5を関連付け、日本の自然災害と防災対策についてとらえる。